

2019年12月20日

(臨床研究に関する公開情報)

南和歌山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 高齢者の内視鏡治療における安全性と有効性の検討

[研究責任者] 木下幾晴 南和歌山医療センター 消化器科 医師

[研究の概要]

内視鏡治療には様々なリスク因子が存在しますが、それらは①患者様側の因子、②内視鏡手技の難易度による因子、③術者側の因子、④施設の体制による因子に分類されます。一般的に高齢者は非高齢者に比べリスクが高いとされますが、それは年齢が上がるにつれ、体力の低下、認知能の低下に加え、種々の基礎疾患を複数有する場合も多いからとされております。本研究では当院における全内視鏡治療における安全性と有効性を検証し、高齢者におけるリスクを明らかにし、その対処法について検討するものであります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010年4月1日から2025年12月31日の間に当院で内視鏡治療（消化管腫瘍に対する切除術、ERCP 関連手技、EUS 関連手技、食道静脈瘤治療、内視鏡的止血術、胃瘻造設術など）を受けた患者様。

●利用する検体、カルテ情報

検体：切除標本（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、病理検査結果）、内視鏡処置記録、内服歴など

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構南和歌山医療センター

木下幾晴、消化器科、医師

電話 0739-26-7050(代表) 消化器科 内線：680 FAX 0739-24-2055

